

## KMTL-ET/PTS 試験要領書

試験コード	品 種
MT1	炭素鋼・低合金鋼(金属一般)の丸棒引張試験
MT2	炭素鋼・低合金鋼(金属一般)の丸棒引張試験(加工済み試料)

統計処理はMT1とMT2を併せて行います。

1. 試験項目: 引張試験における引張強さ、0.2%オフセット法による耐力、破断伸び、絞りを測定する。
2. 試験方法: JIS Z 2241の方法にて試験を行って下さい。他の方法で行う場合はその理由をコメント欄に記載して下さい。
3. 試料と測定方法: 丸棒素材は2種類(各1本)同封されています。これを試験所でJIS Z 2241丸棒試験片(直径:10mm, 原標点距離:50mm)に加工して、試験を行って下さい。2本はそれぞれ異なる素材ですので、試験片加工時に間違えないようご注意ください。
  - ・試験片加工は外部に発注しても良い。
  - ・加工済み試料はそのまま試験して下さい。

#### 4. 結果の報告

引張強さ、0.2%オフセット法による耐力、破断伸び、絞り及び破断位置(A~C)を報告する。引張強さ及び0.2%耐力は、 $N/mm^2$ の単位で整数表示、破断伸び及び絞りは小数点以下1桁までのパーセント表示とする。使用した測定機器名及び測定条件を報告して下さい。貴所で通常測定しない項目または評価を希望しない項目については、報告の必要はありません。

試験結果報告用紙(データシート)のエクセルファイルは、下記URLからダウンロードし、測定結果を記入の上、E-mailでお送り下さい。

ファイル名には(7-\*\*)内に試験所番号を追記願います。

URL : <http://www.kmtl.co.jp/ia/archives/1196>

→ 第2回「金属及びファスナーの引張試験及びロックウェル硬さ試験」

→ 15項の関連文書→試験結果報告書用紙(全試験共通ファイル)

E-mailでの結果送付先は [kmtl-et-pts@kmtl.co.jp](mailto:kmtl-et-pts@kmtl.co.jp) です。  
(お申し込み時と同じです)

FAXによる報告書は、受領致しかねます。

(注)・参加者同士の結果に関する情報交換、談合、改ざん等が認められた場合は欠測値とし、参加費は返却致しません。試験片の準備及び試験時の安全には、十分ご注意ください。

#### 5. 結果送付の締切り期限: 2017年10月5日(木)

(送付期限以降の提出は統計計算から除外致します)

以上  
EQF-009-2(改003)